

SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 1 月 31 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
スポーツを通じて、地域における少年少女の健全育成と共に、まちづくり、人づくり、健康づくり及び国際交流に寄与する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
『子どもたちの為に、次世代の為に』を重点的な活動理念とし、スポーツが持つ寛容性と尊厳を促進し健康、教育、まちづくりに寄与し、人・団体・地域の結びつきの役割を活動の中心とする。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022 年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023 年12月31日までの取組目標
	サッカースクールの開催やトレセンへの講師派遣 サッカー競技規則とリスペクト精神の理解を深める	コロナの影響で実施が可能な機会は減少したが、可能な限り対策を万全にし実施した。	サッカースクールの開催やトレセンへの講師派遣 サッカー競技規則とリスペクト精神の理解を深める
	全国少年少女草サッカー大会をはじめ各種の大会等においても男女関係なく全ての人が参加出来る環境を整え実施	全国少年少女草サッカー大会はコロナの影響により中止となり各種大会も規模を縮小しての大会となる中で全ての人が参加出来る環境を整え実施した。	全国少年少女草サッカー大会をはじめ各種の大会等においても男女関係なく全ての人が参加出来る環境を整え実施
	仲間作りのサッカー教室の実施 障害者サッカーチーム作り・大会参加の支援	コロナの影響で実施が可能な機会は減少したが、実施の際には対策を万全にし実施。障害者サッカー体験の参加広報を実施した。	仲間作りのサッカー教室の実施 障害者サッカーチーム作り・大会参加の支援
	子どもに対するあらゆる形態の暴力や心理的な攻撃をなくす（子どもの声を聴き、子ども視点を尊重した環境づくり） 全国少年少女草サッカー大会においてSDGsの理念に沿った指導者（監督等）の表彰制度の検討	子どもに対するあらゆる形態の暴力や心理的な攻撃をなくす（子どもの声を聴き、子ども視点を尊重した）環境づくりをした。全国少年少女草サッカー大会はコロナの影響により中止となり指導者表彰制度の検討は持ち越したとなった。	子どもに対するあらゆる形態の暴力や心理的な攻撃をなくす（子どもの声を聴き、子ども視点を尊重した）環境づくり 全国少年少女草サッカー大会においてSDGsの理念に沿った指導者（監督等）の表彰制度の検討・実施
	メインとなる全国少年少女草サッカー大会はSDGsの普及にも力を入れ個人・団体・企業等と連携し大会等の運営を実施	全国少年少女草サッカー大会はコロナのは中止となったが、他の大会等は規模縮小ではあったが、個人・団体・企業等と連携し実施した。	メインとなる全国少年少女草サッカー大会はSDGsの普及にも力を入れ個人・団体・企業等と連携し大会等の運営を実施
その他	SDGsについて大会等を通じて啓発活動を実施	コロナの影響により大会等は中止や縮小を余儀なくされた。SDGsのぼり旗の掲揚や指導者講習会において指導者の啓発活動を実施した。	SDGsについて大会等を通じて啓発活動を実施

（記載上の注意）

- 1 取組目標は3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は 関連事業者等の名称	NPO法人清水サッカー協会	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	11. 教育、学習支援業	
3	従業員（構成員）数	36 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	会長
		氏 名	牧田 博之
5	所 在 地	〒 424-0924	
		静岡県清水区清開2丁目1番1号 清水総合運動場体育館2階	
6	ホームページURL	http://www.nposhifa.net	